

Deliver food safety and security for children

東温市学校給食センター BDF 利用プロジェクト

子どもたちの経験が、未来の人財に 社会を大きく変える。 貢献しよう。

J-VER制度(J-クレジット制度)とは Japan Verified Emission Reduction

- ・J-VER 制度とは、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として日本国政府が認証する制度です。
- ・J-クレジット制度は、国内クレジット制度とオフセット・クレジット(J-VER)制度が発展的に統合された制度で、平成25年度より日本国政府によって運営されています。
- ・東温市学校給食センターBDF利用プロジェクトによって創出されたクレジットは、J-VER制度の下で認証されたJ-VERクレジットです。

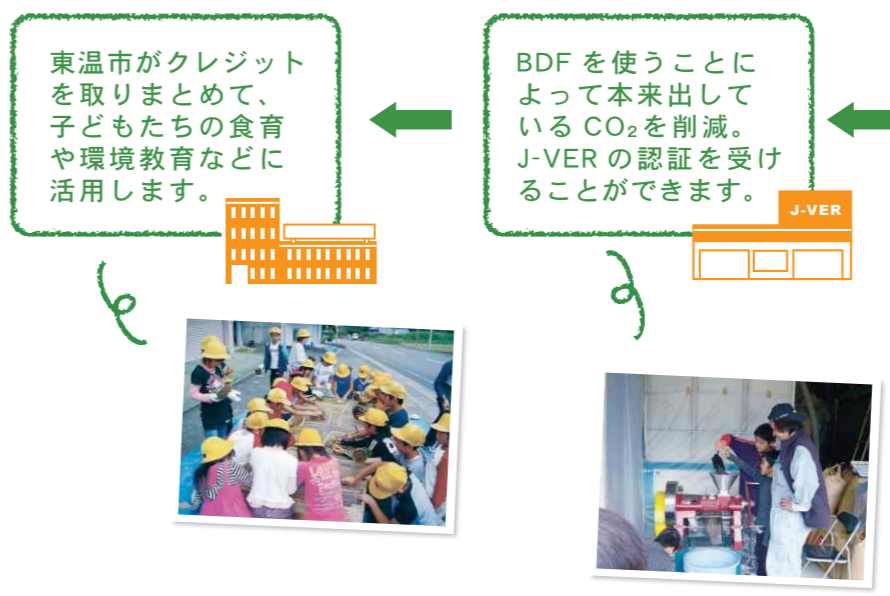
GOAL!! 生まれてきた J-VER の活用方法

活用方法①

- ・市主催のイベントのカーボン・オフセット
- ・クレジット売却収入をふるさと基金に積立
- ・市内企業と連携してカーボン・オフセット商品を開発

活用方法②

- ・地元食材を素材に使った安心・安全の給食
- ・環境教育の実施
- ・裸麦など特産物や加工品のブランド化
- ・米粉利用、エコファーマー支援



カーボン・オフセットとは Carbon Offset

日常生活や経済活動において排出するCO2などの温室効果ガスのうち、自らの努力では削減が難しい部分の排出量について、他の場所で実現した排出削減・吸収量(クレジット)を購入することにより、打ち消し(オフセット)することをいいます。

BDF とは Bio Diesel Fuel

BDFは、植物系廃食用油を原料とするバイオマスエネルギーです。植物はその成長過程で二酸化炭素を吸収し、エネルギーに変換して蓄えていきます。そのため、これらを原料とする燃料を燃やしても、植物のライフサイクル全体では大気中の二酸化炭素量は変わらないため、「CO2カウントゼロ」となるわけです。この考え方は「カーボンニュートラル」と言われています。

東温市学校給食センター BDF 利用プロジェクトについて

「東温市学校給食センターBDF利用プロジェクト」では、**J-VER 取得第一号の事業**として、廃食用油を原料とするバイオディーゼル燃料を、学校給食センターのボイラ燃料として使用する「バイオマスエネルギーの地産地消」によるCO2削減事業に取り組んでいます。また、ボイラ利用以外に、給食配送車にB5混合軽油を採用し、地球温暖化防止に力を入れています。

J-VER を活用して、子どもたちの食育や環境教育に貢献

東温市は、J-VER(オフセット・クレジット)活用のため「CO2排出権活用事業」を展開しています。**売却収入は、地場産給食・食育推進に充て、子どもたちの健康や食の安全・安心の確保を図ります。**そして**特産物や加工品のブランド化など「環境と経済の好循環」を推進**して、「環のまちづくり(ロハスタウン)」を目指します。また、東温市では小学5年生を対象に「とうおん子ども科学&環境会議」を毎年開催し、廃食用油のBDF変換実験、BDFカート試乗など環境教育プログラムを実施しています。

「B5」とは Bio Diesel Fuel "B5"

バイオ燃料混合軽油「B5」は、バイオ燃料5%分の二酸化炭素排出量がカウントされません。合わせて化石燃料の軽油をバイオディーゼル燃料で5%代替することで軽油の消費量を削減することができ、その結果、地球温暖化防止に貢献することができるわけです。

